

放送大学 静岡SC 令和3年度ゼミナール 「百年ゼミ シーズン5 丹那トンネル」 ゼミノート

- これは、令和3（2021）年度第2学期に開講された、私たちが生きる100年を身の回りの事柄で考える《加藤百年ゼミのシーズン5 フィールドワーク 2.丹那トンネル》で手がかりとした吉村昭「闇を裂く道」をめぐって、内容を整理しながら私たちが気づいたこと、考えたことの主な内容を特に小説の後半部、湧水問題に焦点を当てまとめたものである。
- わが国の最も主要な輸送ラインの一つである東海道新幹線の礎となる東海道本線を今日の姿に変えた一大事業が、私たちが学ぶこの地で行われた、その内部に幾らかでも迫ろうとした活動記録である。
- 今まさに、東海道に新たな鉄道ラインが設けられようとし、静岡県では掘削事業に関わる水問題が表面化している。私たちは、断層を貫く丹那トンネル掘削という大きな事業のことを忘れてしまっていたことを、痛切に思い知らされた。

2022年5月30日

放送大学 客員教授（平成29年度～令和3年度）

静岡大学名誉教授・理博 加藤 憲二

ゼミナール参加者

- 池谷美津子
- 八束いく子
- 塩川小夜子
- 河口哲人
- 亀尾美奈
- 島田倫巳
- 佐藤信輝
- 鈴木孝尚
- 神鳥徹也
- 山口順子
- 笹井俊一
- 花井美穂